

名張市教育センターだより 第7号

平成29年9月13日(水)発行

創る

〒518-0485

三重県名張市百合が丘西5番町25番地

<http://www.nabari-mie.ed.jp/minakuru/>



事務室・教育よろず相談 1F

Tel 0595-64-8801 Fax 0595-64-8802

E-mail:kyouiku-ce@city.nabari.mie.jp

minakuru01@nabari-mie.ed.jp

適応指導教室(さくら教室) 2F

Tel 0595-63-7830 Fax 0595-63-7830

E-mail:sakura@nabari-mie.ed.jp

学校ボランティア室 1F

Tel 0595-64-8864 Fax 0595-64-8802

充実した2学期に！

教育センターでは、夏季休業中に教育講演会を含み17講座の研修講座等を予定していました。残念ながら理科の講座は台風5号のため中止となりましたが、計16講座等を開催し、1203人の参加がありました(昨年度16講座1073)。今年度は、新学習指導要領における、教科・領域の学習の視点、特別の教科道徳や小学校外国語活動から中学校英語へなど、これから先の教育を見据えて先生方に研修をしてもらうことができました。研修で学んだことを日々の教育実践に活かしていただき、子どもたちにとって実りある2学期になることを期待しています。

防災学習出前授業のお知らせ

『伊三郎さんからのおくりもの「名張にもあった安政の大地震」』を題材に、プロジェクターによる紙芝居を使った防災学習の出前授業を準備しています。センターアドバイザーの竹内英雄先生、竹森常文先生が出前授業をさせていただきます。ぜひ、ご活用ください。

名張にもあった

安政の大地震



科学実験・ものづくりを一緒にしませんか？ 7月25日(火)

講師：教育専門員 藤岡正則

今年の科学実験は、「だ液の実験」「人体模型」「ちょー簡単電気モーター」など実際に授業で実践できる効率のよい実験、観察、指導の仕方について教えていただきました。

参加者からは、「楽しくてすぐに子どもたちに使えて特別支援学級の子どもたちとも一緒にできる内容でうれしい。」という声がありました。



国語授業のユニバーサルデザイン

～授業UDとアクティブ・ラーニング～

7月25日(火)

講師：桂 聖(筑波大学附属小学校教諭)

授業におけるユニバーサルデザインは、特別な支援を必要とする子どもたちだけではなく、すべての子どもたちにとって有効であるということを実践例をあげて教えていただきました。参加者からも、『ダウト読みや臆病読みなど、子どもたちが授業で積極的に参加できる方法を教えていただけたので、2学期以降授業に活かしていきたい』という声がありました。

子どもをアクティブにする算数授業づくり

～算数で育てる資質・能力を考えて～

7月27日(木)

講師：盛山隆雄(筑波大学附属小学校教諭)

子どもが主体的に学ぶ(子どもをアクティブにする)ためには、子ども自身に問題意識を持たす必要がある。それを引き出す具体的な各学年の実践例を丁寧に教えていただきました。

「子どもたちから問いを引き出すことを意識して教材研究をしたい」という声を参加者からいただきました。

*貸出用DVDがあります。



**小学校外国語活動から中学校英語へ
～小中それぞれの役割
—新学習指導要領をふまえて～
7月31日(月)**

講師：阿野幸一

(文教大学国際学部国際理解学科教授)

英語の知識だけでなく、知識と表現をバランスよく取り込んでいくことが大事で、小学校ではとにかく楽しみながら、英語にたくさん触れさせていくことが必要だと教えてもらいました。また、「中学校では、小学校教育での外国語学習をどのようにつないでいくか、中学校ギャップをどう回避していくかを研修し取り組んでいきたい。」という声もありました。
*貸出用 DVD があります。



授業で学級を創る

8月1日(火)

講師：土作 彰(広陵町立広陵西小学校教諭)

「子どもはムードに従う。だからこそ、先生はムードメーカーに！」この言葉から講座が始まりました。その後、子どもを引きつけるためのミニネタをたくさん教えていただきました。「地図を使ったり、小道具を使ったり、子どもたちがやる気になるような授業の工夫をしていきたい。」「ミニネタをたくさん使っていきたい。」という参加者の声がありました。

*貸出用 DVD があります。



**安全な組立体操の実施方法～作品づくり～
8月4日(金)**

講師：荒木達雄(日本体育大学教授)

大きく、高い表現を目指すのは危険であること、できない子には無理させないことなど、組立体操の見方を変えてもらった講習会でした。重なりやズレを意識するだけで魅力的で楽しいものができ、練習時間が少なく技の数が少なくても3～5分の作品できあがることを実際に体験させてもらうことができ、有意義な時間を過ごすことができました。
*貸出用 DVD があります。



**保幼小接続カリキュラムの可能性
～保育の質とこれからの幼児教育について～**

8月8日(火)

講師：木下光二(鳴門教育大学教授)

小学校1年生に対して「簡単なこともできない」と思うのではなく、それまでの育ちの流れで、「きっと多くのことができるようになったんだろう。」と想像、理解することが大事である。当たり前かもしれないが、教育は小学校1年生から始まるのではないということ、幼児期に夢中になって遊び込んでいる子は、大きくなってからの学びに向かう力のある子に育つということなど、とても大事なことを教えてもらいました。

*貸出用 DVD があります。

**発想や構想する力を育てる図工・工作の時間
8月8日(火)**

講師：米倉多賀子(鈴鹿市教育委員会教育指導課、元旭が丘小学校長)



ネコジャラシの絵を描いたり、ぼかし、たらしこみなどの技法、色の重ね方などの実践例を交えて体験させてもらったりしました。「教師側がおちいりやすい指導について話していただいたが、自分の指導も見事にそれに当てはまってしまった。改善のポイントも具体的に教えていただいたので今後活用していけそうだ。」という参加者の声がありました。

*貸出用 DVD があります。

困難事例への支援の実際

8月17日(木)

講師：小栗正幸(特別支援教育ネット代表・宇部フロンティア大学臨床教授)

子どもと対話する時、売り言葉に買い言葉のように子どものペースに乗せられていららしてしまうことはありませんか。そのような時、『的を外す』ことが有効的であると教えてもらいました。アンケートには、「支援としての対話の仕方について、具体的な内容だったのでわかりやすかった。」という声が多くありました。

*貸出用 DVD があります。



教育講演会「今一度、人権・同和教育の 原点に立ち返って」

8月18日(金)

講師：土田光子（大阪教育大学非常勤講師）

世代の違う教職員の学び合い、朝の会、帰りの会の取り組みなど、参考させていただける内容を具体的な実践例を挙げながら熱く語っていただきました。「差別する側が学ばなければならない」ということを大事に教育を進めていきたいと思えます。参加者からのアンケートには、「とても元気になりました。」など、パワーをもらったので2学期はがんばっていこうという思いを持った方が多くいました。



子どもの接点から接線へ、そして接面へ

8月21日(月)

講師：木村清俊

（伊賀市教育委員会 教育アドバイザー）

教材やその教科の学習について、どれだけ深く授業者が理解しているかが発問や授業作りに関わること、子どもや保護者の生活背景を知っておくことの大切さなどについて教えてもらいました。時間や労力はかかるけれど、これからもがんばっていききたいと気持ちを新たにすることができる研修でした。

*貸出用 DVD があります。

ふるさと学習とは

～なぜ今ふるさと学習が必要なのか～

8月21日(月)

講師：深草正博（皇學館大学教育学部特命教授）

グローバル化、国際化と言われる現代社会において、とかく外に目を向けることばかり意識が向くことが多い中で、「内のことを語れずして（自国、ふるさとを愛さずして）、他国理解はできない」と実感できる内容でした。自分のふるさと、名張のことを好きになり、語れる子どもたちに育てていくために、まずわたしたち指導者も名張のことを知っていききたいという気持ちになりました。

*貸出用 DVD があります。

ぱりっ子わくわくキャンプで学ぶ野外活動

8月21日(月)～22日(火)

講師：教育センター職員他

キャンプ1日目はハイキングやフィールドアスレチック、キャンプファイヤー、2日目は焼きそば・棒パン作りを行いました。参加していただいた教員やボランティアの学生が子どもたちを見守りながらいっしょに活動し、安全に過ごすことができました。2日間を終える頃には一回り大きく成長した子どもたちの姿を見ることができ、5年生で取り組む野外活動に自信を持てた活動となりました。



書写指導を始めるにあたってのポイントと基礎 基本の定着について

8月22日(火)

講師：福村俊夫（名張市立美旗小学校長）

岩森進（名張市立桔梗が丘小学校教諭）

基本点画の整え方、バランスの取り方などを指導する時、子どもにどのように言葉がけをすればよいかなどについて、実践を交えながら丁寧に教えていただきました。また、グループで大きく書を書く体験もあり、互いの思いを出し合いつつ、ゆずりあいつつ和気あいあいと活動することができたので実際に授業で行うと子どもの仲も深まるという確信を持つことができました。

*貸出用 DVD があります。



「特別の教科 道徳」の完全実施に向けて

8月28日(月)

講師：柴原弘志（京都産業大学教授、

教職課程教育センター長）

この講座では、教科化される特別の教科道徳の評価の仕方について詳しく教えていただきました。評価の記述例も参考にさせていただきました。また、教師側の考えを押しつけるのではなく、児童生徒の本音を引き出す授業を考え、ありきたりな話し合いではなく、主体的に語り合える授業で考えることが大切だとも教えていただきました。

*貸出用 DVD があります。



ふるさと学習「なばり学」名張市内フィールドワーク

8月25日(金)

講師：門田 了三（文化生涯学習室）
管尾 久（比奈知文化センター）
谷戸 実（学校ボランティア室）

参加者の声をもとに、名張の見どころを紹介します。

名張市郷土資料館

縄文時代から順に名張の歴史を見て知ることができました。

やなせ宿

昔ながらの名張の町並みや、武家の家のしくみを見ることができてすばらしかったです。

名張藤堂家邸

名張の藤堂家の由来など知ることができました。津と名張の違いには興味があったのでよかったです。



観阿弥ふるさと公園 能舞台にて

夏見廃寺展示館

もともと齋宮の話などを学んでいたのが実際に見ることができてよかったです。復元金堂が見事でした。

オキツモ（株）ショールーム

名張市にこんなにすごい技術のある会社があると知りませんでした。ショールームでの体験によって、身の回りのものにたくさん使用されているということを実感できて楽しかったです。

比奈知文化センター

「自分の差別心と向き合うこと」という管尾さんの言葉が心に残りました。

観阿弥ふるさと公園

能の舞台を初めて見ることができた。部屋の中が予想外に広くて驚きました。

美旗古墳群

教科書には、大仙古墳という有名な古墳があるが、名張にも古墳があり比較ができるため、良い資料に出会うことができました。名張市にあんなに大きな前方後円墳があるなんて、知らなかったです。